

2018年8月2日、イルサンキンテックス

第21次世界レムナント大会－伝道者の告白

伝道者がレムナントに→3つの機会(答え)

柳光洙牧師(整理:チャ・ドンホ牧師)

序論

▲このレムナント運動は、神様が準備されたのです。ですから、世界へ広まるでしょう。ヨーロッパへ、アメリカへ、アフリカへ広まるでしょう。あの北朝鮮へ、中国へ行くでしょう。今日、参加されている方々の現場でも伝えられるでしょう。

▲みなさんが知って行かなければならないことが一つあります。ある面では、理解するのが難しいことでもあります。ある面では、一生、逃して生きることもあります。私と私たちの牧師先生は、20-30年、ともに伝道してきました。それをしながら、私は一つ見たことがあります。人々は、みな難しいと言うのです。だましていただけです。あまりに苦しい。ところで、なぜそうなのかを知らずにいるのです。レムナントが知らなければならぬでしょう。このレムナント7人はそれを分かっていたのです。ですから、耐える必要もなく、勇気を出すとか出さないと言う必要がなかったのです。ダビデが勇気を出したのでしょうか。そのように理解すれば、間違っています。違います。ダビデが分かっていたことが一つありました。それでは、それを分かて行かなければならぬでしょう。明日になると、レムナント大会は終わります。しかし、レムナントの旅は継続されるでしょう。それなら、私が分からなければならぬことがあるのです。ダニエル、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、偶像と戦って神様がともにおられたのでしょうか。そのように言うことができます。しかし、違います。そのように理解すれば、みなさんは多くの損をするようになります。このシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ、ダニエル、また、レムナント7人が分かっていたことがありました。

▲この事実をみなさんの両親もよく知りません。また、学校に行っても先生も教えません。教会ですらも教えません。私たちが違うように知っているのです。耐えなければならぬのでしょうか。違います。熱心に信じなければならぬのでしょうか。どのように、熱心に信じるのでしょうか。必ず私たちのレムナントが分かて行かなければなりません。この目に見えない、何か分からない、この世界が、人をどんどん滅亡させるのです。暗やみという落とし穴を作って陥れてしまいました。目に全く見えないように、人間を縛って、その落とし穴の中に落としてしまいました。もしかして、上がってきてはいけぬから、ふたでおおっておいたのです。幸せなはずがありません。これをヨセフが分かたのです。これをダビデが分かたのです。これを初代教会のレムナントが分かたのです。

▲ですから、今からみなさんが行くところに、三つのことに会うようになります。それがチャンスです。

1.両親、信徒、周囲の人があたえる困難→チャンス(100年の答え)

▲その最初が何かというと、みなさんの両親、信徒、周囲にいる人々が、とてもみなさんを難しくさせるでしょう。どのようにするのでしょうか。これがチャンスです。ヨセフは理由を分かていました。みなさんは、何の話なのか分かるでしょう。ダビデは理由を分かたのです。だから、揺れる、揺れぬのでは

ありません。分かっているならば、揺れても関係なくて、揺れなくても関係ありません。私たちのレムナントが、今、霊的レベルがとても高いです。私が、事実は難しい話をしているのです。これをやや下手すると、神学者も分からないことがあります。アブラハムが上手にしたので答えを受けて、できなかったために受けられなかったのでしょうか。違います。アブラハムが、その契約の中に入ったのです。失敗を継続しました。関係ありません。

▲私たちのレムナントが、必ず握らなければなりません。みなさんの家庭と次世代と世界を滅亡させようとする暗やみの勢力を分かっていたという、その話です。それでは、ヨセフのように、その兄たちは、当然そうなるのです。知らないから・・・揺れる必要がありません。チャンスです。そのとき、ヨセフに100年の答えがきました。これからみなさんに与えられる最初のチャンスです。分かりますか。みなさんの教会の中では、とても試みにあって、体面を保って笑わなければなりません。それしか仕方がないでしょう。私たちのPK中で、こういう話をしました。牧師の息子だけれど、私は絶対に牧師にならない。牧師の娘の中でこういう話をしました。私は絶対に牧師と結婚しない。なぜでしょうか。苦勞している、ということです。傷がある、ということです。教会の信徒が嫌いだ、ということです。そうでしょう。変えなければなりません。それしか仕方がないのです。そうでしょう。みなさんが霊的なことについて、まったく分からない人々は、それしか仕方がありません。彼らを生かすに行きなさい。分かるでしょうか。

2.世の中の人々と強い者のいじめ→ チャンス(1000年の答え)

▲二つ目のチャンスに会うでしょう。みなさんが世の中に出て行けば、世の中の人々が、みなさんを困らせるでしょう。強い者が、みなさんを困らせるでしょう。恐れてはなりません。強い者ではありません。そうでしょう。エジプトはサタンの文化に捕えられた国です。なぜ、ナイル川から話したのでしょうか。ナイル川に乗って、すべての文化が流れてエジプトに入って出てくるのです。死にかかっています。恐れる理由がありません。ここに貧困のために悩むレムナントいますか。心配しないように。そこに縛られてよく生きるということは、よく生きることはありません。それを分かるとき、働きが起きるのです。分かるでしょう。悪霊につかれたサウル王が困らせるのに、揺れる必要がありません。それを悟ったダビデに千年の答えがきました。分かるでしょう。

▲信仰よりさらに重要なのが、分かることです。分かるということは、悟ることです。恵みを受けたということは、悟ったということです。神様が恵みをくださったということは、悟るようにしてくださったのです。

▲みなさんが出て行けば、家へ帰れば、学校、教会に行けば、変なことをたくさん見るでしょう。そこに100年の答えが隠されています。分かるでしょう。結論を明日出しますが、みなさんが世の中に出て行けば、恐ろしいことを見るようになります。恐れることはありません。それを必死のあがきと言うのです。強い人が大声を出す、それは必死のあがきと言います。乱暴な人が、みなさんを苦しめるようになるでしょう。それをうめき声と言います。レムナントは、必死のあがきと、うめき声に揺れる必要がありません。うまくできる、できなかったでもありません。耐えなければならぬ、耐えてはならぬでも、ありません。悟って、契約の中に入れば、世界を生かすようになります。

3.家系、地域、国、世界を生かそうとするなら、暗やみ勢力と戦いなさい→ 時代的な永遠の答え

▲三つ目のことに会うようになります。本当に、私たちの家系、地域、国をどのように生かすのでしょ

うか。アフリカ、どのように生かすのでしょうか。バヌアツ、どのように生かすのでしょうか。韓国、どのように生かすのでしょうか。あの中国、北朝鮮、どのように生かすのでしょうか。

▲簡単です。暗やみの勢力を分かる者、レムナントを通して神様はなさいました。それが、この話です。私たちは偶像の前にお辞儀をできない、これは、あなたと戦うという話ではなくて、暗やみの勢力と戦うということです。ダニエルが、私が信仰が強いから、その信仰を守るのでしょうか。その話ではありません。暗やみの勢力に捕えられたバビロンを生かすということです。

▲そうすれば、事件が起きます。レムナントに神様が備えられた時代的答えがくるのです。確実です。この話が分からなければ、試みにも勝てません。なぜあの人たちが、事故を起こしたのか、分かることもできません。なぜ自殺するのか、分かることもできません。この話が分からなければ、なぜ人を殺すのか分からないのです。なぜ麻薬から抜け出せないのか、分かることもできません。この話が分かるなら、100年、1000年、時代的な永遠の答えがくるようになっていきます。私は、何かの運動をしようと、これをしたのではありません。重要な理由を分かる牧師先生とともに開始をしたのです。神様のみことばを100%みな守っても勝てない暗やみ勢力を分かる者たち、その方たちとともに、これまで来たのです。みなさんを通して、このとても大きな神様の力は、世界へ伝えられるでしょう。揺れてはなりません。揺れる理由がないのです。恐れてはなりません。だまされてはなりません。なぜでしょうか。分かるからです。

*結論

▲最後にひとこと言います。これを知っている人は、答えがきてもそれほど喜びません。そうでしょう。イスラエルの家族がエジプトに引っ越してきたことが、うまくいったことではありません。これを知る人は、困難が来ても、特別に悩みません。分かるでしょうか。

▲こういうレムナントが起きなければなりません。福音を本当に知るレムナント、そうすれば、そのレムナントがいる所に、神様はすべてのことを集合させられます。それが神様の力です。世界福音化です。

▲今日、みなさんが明日の集会を控えて、しばらく一度祈ってみてください。何の祈りをするのでしょうか。本当に私が持っている問題、これが問題であるのか。我が家にある問題、問題であるのか。違います。もし、問題ならば、すばらしいはじまりになります。ですから、「神様、今日、最後の夜を送ります。私に本当に握らなければならない契約をください」と祈らなければなりません。その一つで、みな終わります。本当です。私が神様に祈りました。「神様、本当に私がしなければならない契約を私に与えてください」その一つで、みな終わります。

▲みなさん、一生は大切です。そして、今、開始だからとても大切です。違ったことを握ってはいけません。そうすれば、違った答えがきます。何も握れなければ、どうなるのでしょうか。何も無いのです。神様の正確な契約を握れば、正確な答えがくるのです。それを祈りなさい。「神様、私に本当に握るべき契約を与えてください。私が本当に見なければならぬ正しい夢を与えてください。神様の計画である神様のビジョンを見ることができるよう。そして、本当に神様がくださった契約で、みことばについて行くことができますように」それを祈れば良いのです。他のものはだますのです。だまされないように。

▲レムナント7人が持ったことを紹介しました。私と私たちの牧師先生が現場で見たことを話しました。より重要なことは、聖書のみことば流れの中にあることを紹介したのです。世界の教会はつぶれていっています。防がなければなりません。世界の青少年がほとんど崩れています。ヨーロッパ、アメリカの教会は教会学校がありません。みなさんが防がなければなりません。成功したと思える人たちが、地獄のよ

うな生活を送っています。答えを与えなければなりません。みなさんが与えなければなりません。みなさんは、神様の証人として呼ばれたのです。今夜にそれを祈りなさい。「私は今、我が家に困難がきました」その中に答えがあります。握りなさい。「私は病気になりました」それを握りなさい。「私はとても難しいです」それを握りなさい。避けてはなりません。答えがあります。そして、神様が変えてくださる驚くべき働きが起きます。

▲今日は、この時までたくさん騒いだから、もうちょっと静かにみなさんが目をとじて、少し1・2分の間「神様、私に本当に神様の契約を与えてください。まことのビジョンを与えてください。まことの夢を与えてください。まことの旅程を与えてください。」祈り始めてください。ある日、あかしするようになります。ある日、世界福音化しているでしょう。ある日、多くの変化が起きるのを見るようになります。それが証人です。目をとじて、1・2分の間だけ、心の底から祈りましょう。

(The end)